

2012年3月期 決算説明資料

 **川澄化学工業株式会社**

2012年5月11日

1. 生産状況（2012年4月時点）

- 日本国内向け血液回路は、ナワナコーン工場生産を再開。コラート工場と2拠点で、洪水前の数量の50%を回復。
今後、射出成形機の増設を進め、本年7月には70%程度まで回復させる計画で、年内には従来並みの生産体制を整えていく。
- 海外向け血液バッグは、コラート工場内に従来の生産能力を上回る新工場を建設。本年7月に着工し、来年5月に竣工予定。その後、機械装置の搬入・据付を行ない、2013年末に稼働予定。それまでは、日本国内にて洪水前の約30%の数量を生産予定。コラート新工場稼働後は、従来の1.5倍の生産数量を見込む。

2. 業績への影響（2012年3月期決算）

- 直接的な損失として特別損失で23億円を計上。
（固定資産8億円、棚卸資産5億円、操業中止期間中の固定費等10億円）
- 財物損害保険および利益保険の受取金額が一部確定し、特別利益に30億を計上。

2012年3月期

2012年3月期決算の概要

連結

金額：億円

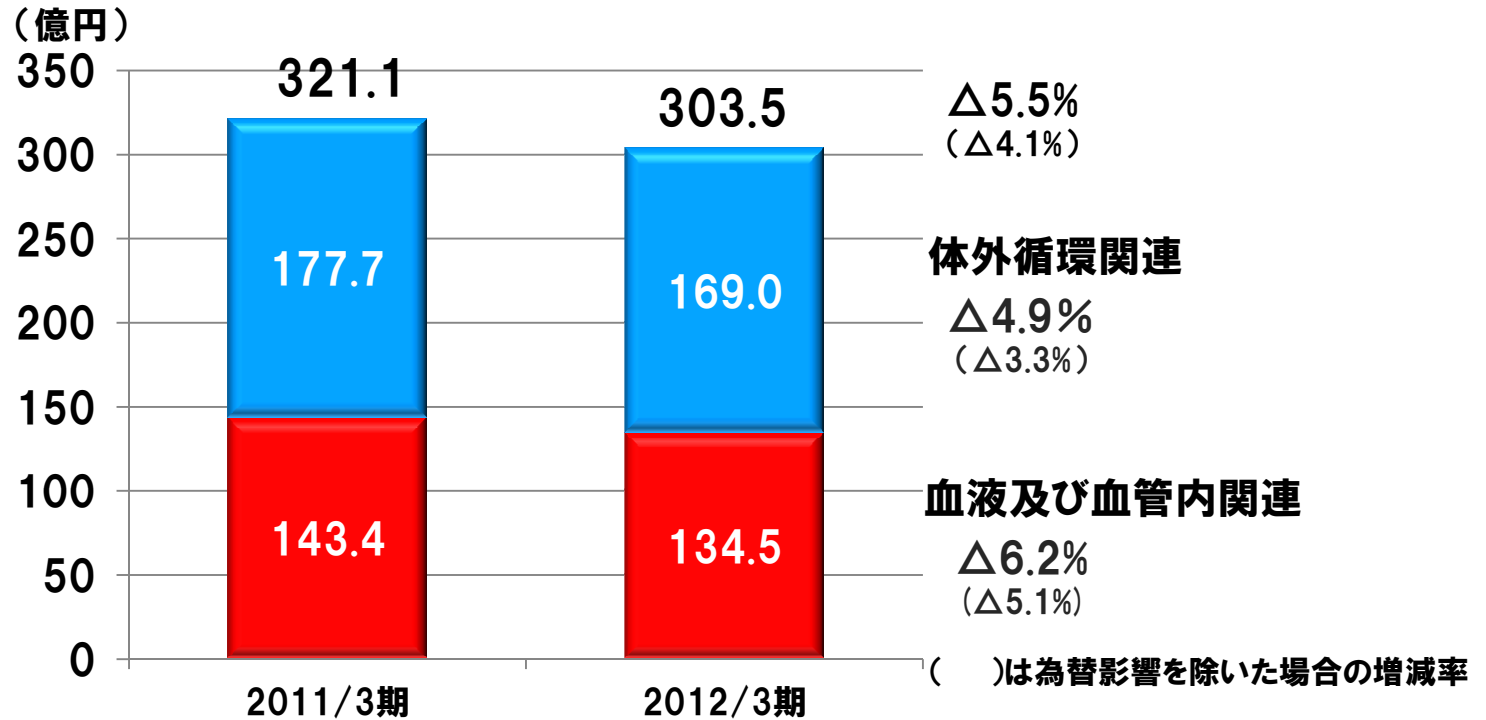
	2011/3期	2012/3期	増減額	増減率	主な要因
売上高	321.1	303.5	△17.6	△5.5%	為替△4.4 タイ洪水△15.2
売上総利益	106.7	93.8	△12.9	△12.1%	
営業利益	23.7	14.6	△9.1	△38.1%	
経常利益	24.5	15.7	△8.8	△35.8%	
特別利益	1.5	30.6	29.1	1914.1%	保険金30.5
特別損失	1.6	23.6	22.0	1378.2%	タイ洪水22.9
当期純利益	15.3	15.0	△0.3	△1.6%	

期中平均レート	2011/3期	2012/3期	増減率
US\$	85.22	78.98	△7.3%
EUR	112.61	109.55	△2.7%
Baht	2.74	2.58	△5.8%

Point

- ・売上高は、ダイアライザーや生理食塩液の販売が前年同期に比べ増加したものの、タイ洪水の影響や円高による為替のマイナス影響を受け、前年同期に比べ17.6億円の減少
- ・タイ洪水による直接的な損失について特別損失で22.9億円を計上。一部保険金収入を特別利益で30.5億円計上し、当期純利益は前期並み

売上高(セグメント別)



Point

【血液及び血管内関連】

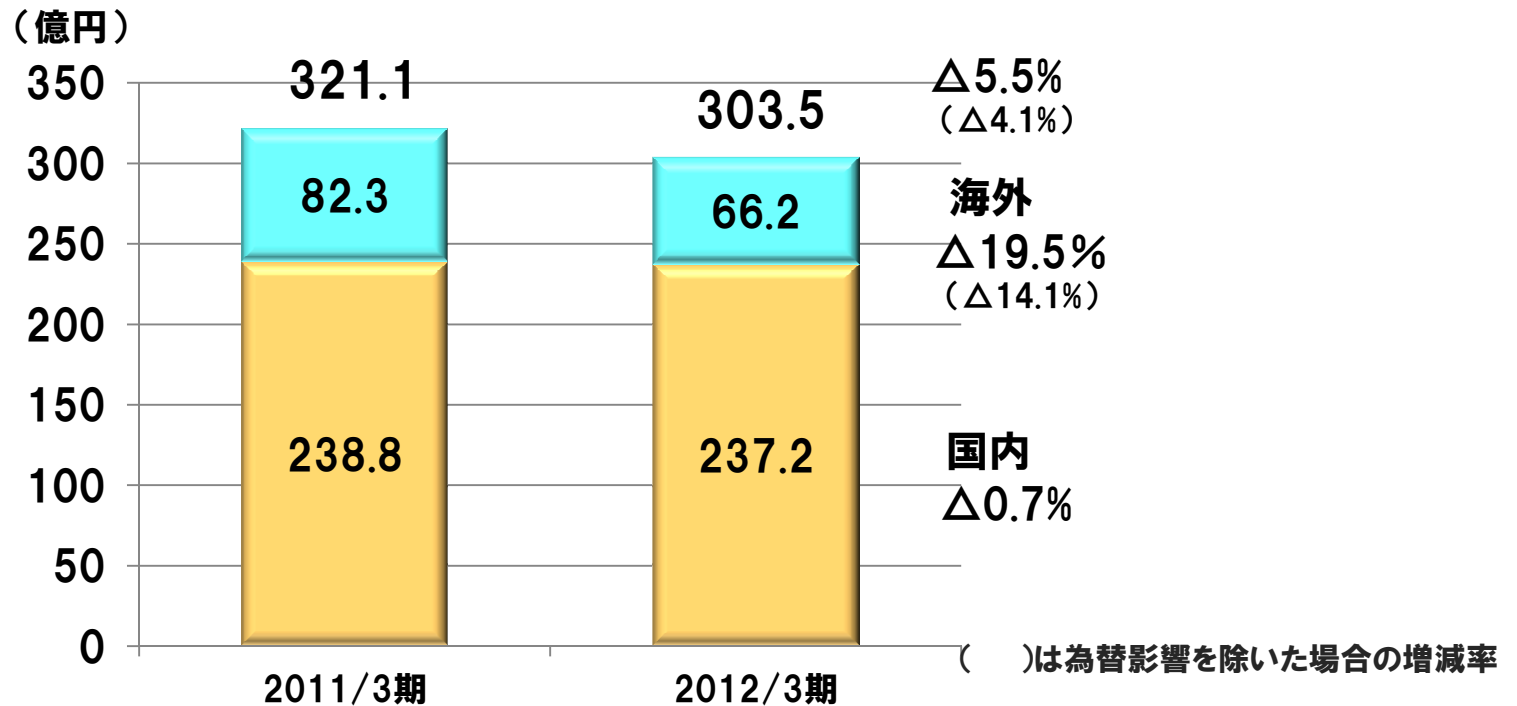
- ・タイ洪水による操業停止の影響で、海外向け血液バッグ、米国向け輸液セットが減少
- ・国内向け血液バッグの販売数量が減少
- ・為替のマイナス影響は約1.6億円(前年レート比)

【体外循環関連】

- ・タイ国産の新型ポリスルホン膜ダイライザーの販売が中東・アジアを中心に増加
- ・タイ洪水による操業停止の影響などで血液回路が減少
- ・為替のマイナス影響は約2.8億円(前年レート比)

2012年3月期

売上高(国内外)



Point

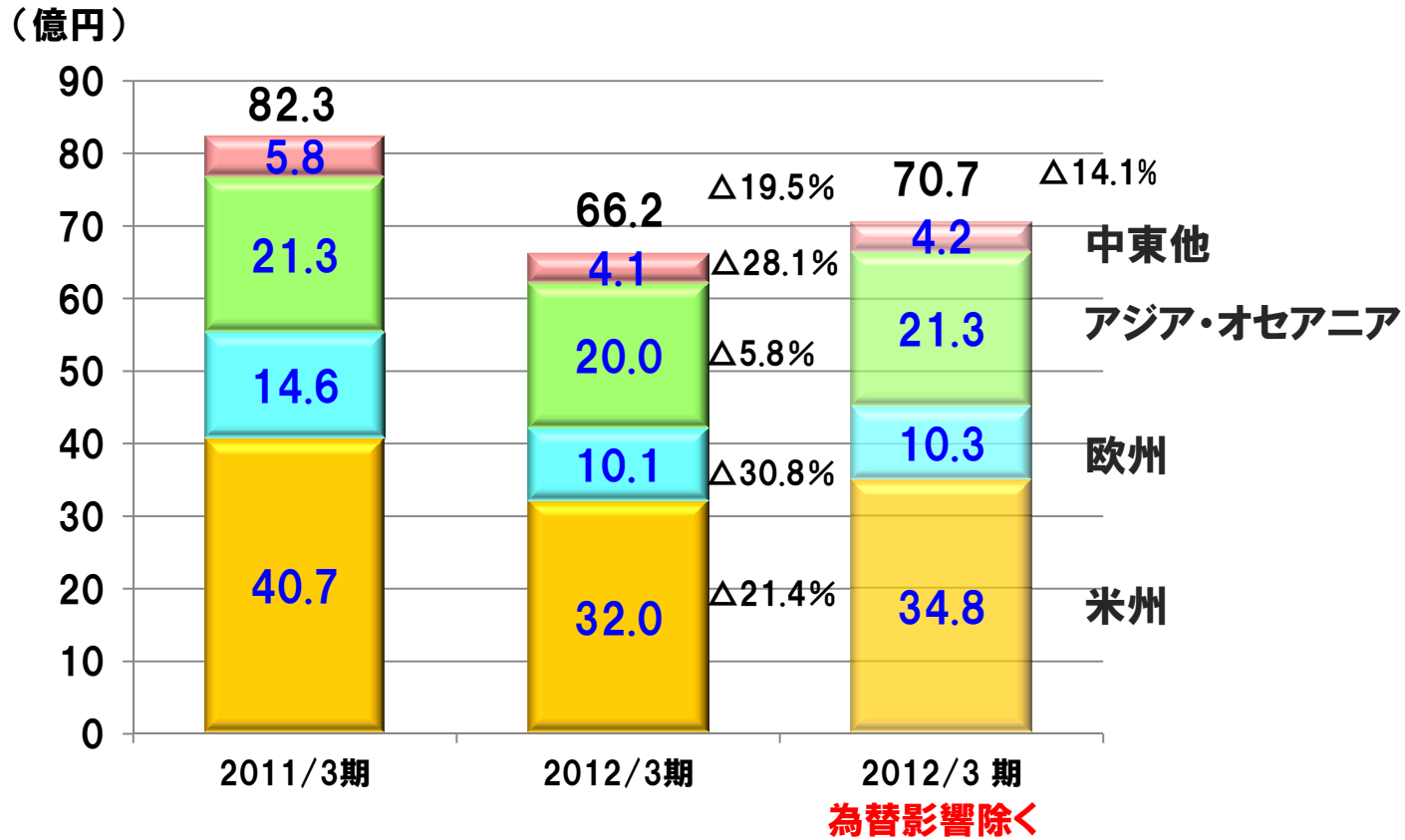
【国内】

- ・透析施設向けの生理食塩液の販売が増加
- ・血液バッグの販売数量が減少
- ・タイ洪水の影響で血液回路が減少
- ・血液浄化製品はOEM向けの販売が減少

【海外】

- ・販売を開始したタイ国産の新型ポリスルホン膜ダイアライザーの販売が中東・アジアを中心に増加
- ・血液浄化製品の販売が欧州で増加
- ・タイ洪水の影響で、海外向け血液バッグ、米国向け輸液セット、血液回路が減少
- ・為替のマイナス影響は約4.4億円(前年レート比)

売上高(海外地域別)



Point

- ・アジアは、タイ国産ポリスルホン膜ダイアライザーの販売が伸びるも、タイ洪水の影響で血液回路や血液バッグが減少
- ・米州は、タイ洪水の影響や為替のマイナス影響などでOEM製品の販売が減少
- ・中東は、タイ国産ポリスルホン膜ダイアライザーの販売が伸びるも、タイ洪水の影響で血液バッグが減少
- ・欧州は、OEM向けの透析関連製品の販売が減少

2012年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額:億円

	2011/3期	2012/3期	増減額
人件費	28.1	29.4	1.3
運送費	12.8	11.8	△1.0
研究開発費	11.0	9.2	△1.8
その他	31.2	28.8	△2.3
合計	83.1	79.2	△3.9

Point

- ・人件費は、子会社の川澄プラテック株式会社の設立などにより増加
- ・運送費は、タイ洪水の影響で出荷量が減少したことなどにより前年同期比で減少
- ・研究開発費は、テーマの選択と集中を図っていることなどにより前年同期比で減少
- ・その他、経費計画の見直しを図ったことなどにより減少

2012年3月期

2012年3月期決算のまとめ

売上

- ・ タイ国産ダイアライザーや国内の生理食塩液の販売が前年同期に比べ増加したものの、タイ洪水による影響(△15.2億円)や為替影響(△4.4億円)を受け、前年同期に比べ17.6億円の減収。

営業利益

- ・ 国内工場での設備投資に伴う減価償却費の増加、タイ洪水の影響や為替のマイナス影響を受けたことなどから、売上総利益が前年同期に比べ12.9億円の減少。販管費は、運送費や研究開発費などの減少により前年同期に比べ3.9億円減少。
- ・ 営業利益は前年同期に比べ9.1億円の減少。

当期純利益

- ・ タイ洪水による直接的な損失について特別損失で22.9億円を計上。
- ・ 一部保険金収入を特別利益で30.5億円計上し、当期純利益は前期並み。

トピックス

- ・ 2011年4月に新工場である野津工場(大分県臼杵市)の射出成形棟が操業開始。2010年10月に設立した子会社・川澄プラテックが運営。9月には同工場内の当社医療機器製造棟も稼働。
- ・ 2011年8月にステントグラフトの承認申請手続きを完了。2013年4月に上市予定。
- ・ 2011年9月にドイツ・フランクフルトに欧州駐在員事務所を開設。現地に密着したマーケティング活動を強化し、欧州地域での事業拡大を目指す。
- ・ 2011年11月に東九州メディカルバレー構想※の一環で、大分大学に寄付講座「臨床医工学講座」を開設。血液浄化治療研究のより一層の推進を目指す。

※東九州メディカルバレー構想

大分県から宮崎県に広がる東九州地域において、血液や血管に関する医療を中心に、産学官が連携を深め、医療機器産業の一層の集積と地域経済への波及、さらにはこの産業集積を活かした地域活性化と、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指す構想。

2013年3月期

2013年3月期の見通し

連結

金額：億円

	2012/3期	2013/3期	増減額	主な要因
売上高	303.5	295.0	△8.5	タイ洪水(日本向け血液回路△6、海外向け血液バッグ△4)、不採算品整理 △9.0
営業利益	14.6	10.7	△3.9	タイ洪水関連の修繕費など一過性のコスト△5.8 タイ最低賃金改定 △2.2
経常利益	15.7	10.7	△5.0	
当期純利益	15.0	4.4	△10.6	2013年3月期は、受取保険金は未定のため織り込まず。

売上原価率 69.1% 68.2% 0.9%

為替レート	2012/3期	2013/3期
US\$	78.98	80.00
EUR	109.55	106.00
Baht	2.58	2.62

- 日本国内向け血液回路は、本年4月時点で、従来生産数量の50%を回復。射出成形機の増設を進め、本年7月には70%程度まで回復させる計画で、年内には従来並みの生産体制を整えていく。
- 海外向け血液バッグは、コラート工場内に新工場建設。本年7月に着工し、2013年末に稼働予定。新工場稼働後は、従来の1.5倍の生産数量を見込む。

Point

- ・売上高は、洪水影響を受けた製品の回復が進むが、洪水前の水準に戻るまでに一定の時間を要する製品があることや、不採算品の整理を行なったことなどから、ダイアライザーやAVF針の増加を見込むものの、前年同期に比べて減少する見通し。
- ・洪水やタイ国の最低賃金改定に伴うコストアップ要因があるが、不採算品の整理やコスト低減活動などの合理化により、売上総利益は前年同期並みを見込む。
- ・研究開発費や販売活動経費など販管費の増加により、営業利益は前年同期に比べ約4億円の減益の見通し。
- ・タイ洪水に関する受取保険金の残額については、金額および時期が未確定のため織り込んでいない。

ご注意

本資料中の将来にわたる記述は、現時点での推測・予測に基づくものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。このため、将来の業績について保証するものではなく、実際の業績が、経営環境の変化等により予測と異なる結果になることがありますことをご承知おきください。

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster@kawasumi.jp